

# 平成 26 年度 第 6 回 COC 実施本部会議 議事録

平成 27 年 2 月 4 日 (水)

15 : 35 ~ 16 : 25

場所 : 本部理事長室

出席者 : 清水学長、齋藤教育開発センター長、田浦学生部長、岡野研究開発推進センター長、西谷事務局  
長、水本学生支援部長、山村教務担当課長、木村企画部長、橋本地域連携推進室担当課長

## 【議題】

### 1. 皇學館大学教育開発センター地域課題学修支援室規定(案)について

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より規定(案)が逐条で読み上げられ、審議の結果、  
文書の体裁・脱字修正及び下記文言の修正がなされた。

- ・第 3 条 (2) (以下「CLL」という。) → 削除

### 2. 皇學館大学コミュニティ・ラーニング・ラボ運営規定(案)について

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より規定(案)が逐条で読み上げられ、審議の結果、  
文書の体裁修正及び下記文言の修正がなされた。

- ・第 3 条 (2) 地域の活性化に向けて共に活動する。  
→ 地域の活性化に向けて地域と共に活動する。
- ・第 6 条 指導教員 → プロジェクト研究の指導教員
- ・運営規定(案)第 2 条以下及び内規(案)について すべて学生及び教員へ変更

< 質疑応答 >

(問) 中間発表の場は？

(答) 年度途中や 1 年の終わりの中間報告、成果報告会を考えている。また、来年 9 月開催予定のシ  
ンポジウムでの事例発表を中間発表にできればと考えている。

審議の結果、異議なく了解された。

### 3. 圏域内視察日時場所について

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より配布資料を基に各市町視察内容時間等について説  
明がなされた。

< 質疑応答 >

(問) 参加者は？

(答) COC 担当教員、参加を希望される市町職員、加えて一部学生の参加を考えている。

審議の結果、異議なく了解された。

### 4. その他

COC 事業推進における圏域情報発信を目的とした後援名義の活用について

清水学長の求めに応じ、木村企画部長より配布資料を基に説明、信州大学の事例紹介及び今後の取組み  
についての提案がなされた。

- ・自治体等が主催するイベントについて大学が後援・共催となることで、COC ホームページから地域

情報の発信ができる。このことによって地域貢献できると共に COC 事業の成果として積むことができるのではないか。

- ・ COC 限定の申請、承諾、報告書様式における後援名義及び事務取り扱い部署については再度検討が必要

審議の結果、異議なく了解された。

## 【報告事項】

齋藤教育開発センター長より 6 次産業化担当教員の選考については、もう一度期間延長をお願い致したいとの報告がなされた。

審議の結果、異議なく了解された。

## \* 次回日程

平成 27 年 2 月 23 日（月） 教学運営会議終了後～ 記念講堂本部大会議室 で開催されることが確認された。

以上